

第3章 生活圏と移動手段の選択

本章では、地図を用いたアンケート調査を元に、生活圏の実態を把握し、居住者の移動手段選択との関係を明らかにする。

1. 移動手段別生活圏

1 - 1 分析手法

地図を用いたアンケートでは、各地区周辺を含めた地図を同封し、徒歩や自転車で行く場所について印をつけていただいた。その結果を次の2項目に着目して分析する。

(1) 数

徒歩又は自転車で行く場所として印がついている数を数えた。

また、徒歩の印と自転車の印を比較し、徒歩の方が多ければ「徒歩生活者」、自転車の方が多い、または徒歩と同数ならば「自転車生活者」とした。

(2) 範囲

地図上で半径 500mの円を用意し、チェック(回答)がその円の中にすべて納まっている回答者を「狭域徒歩圏生活者」とし、円の外にはみ出しているものがあれば「広域徒歩圏生活者」として分類した。

1-2 生活圏とクルマ依存度

(1) 徒歩圏別クルマ依存度

「狭域徒歩圏者」の人の約5割が「クルマ依存生活者」であった(図3-1)。自家用車に頼ると徒歩で出かける範囲が狭くなることがわかる。

また、徒歩又は自転車で行く場所のチェック数を依存度別にみると、「非依存生活」と「限定依存生活」が多くなっている(図3-2)。「限定依存生活」は週3日以上自家用車を利用しているが、普段の移動手段は自家用車以外なので歩いて行く場所もたくさんあると考えられる。

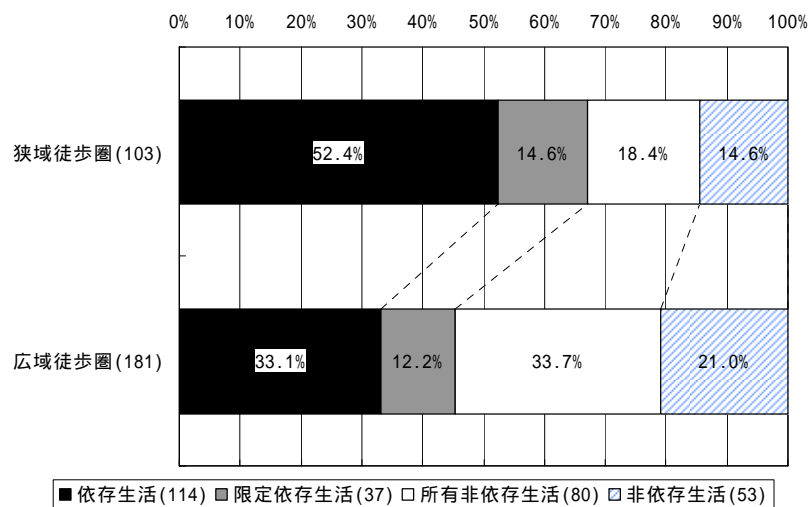


図3-1 徒歩圏別自家用車の依存度

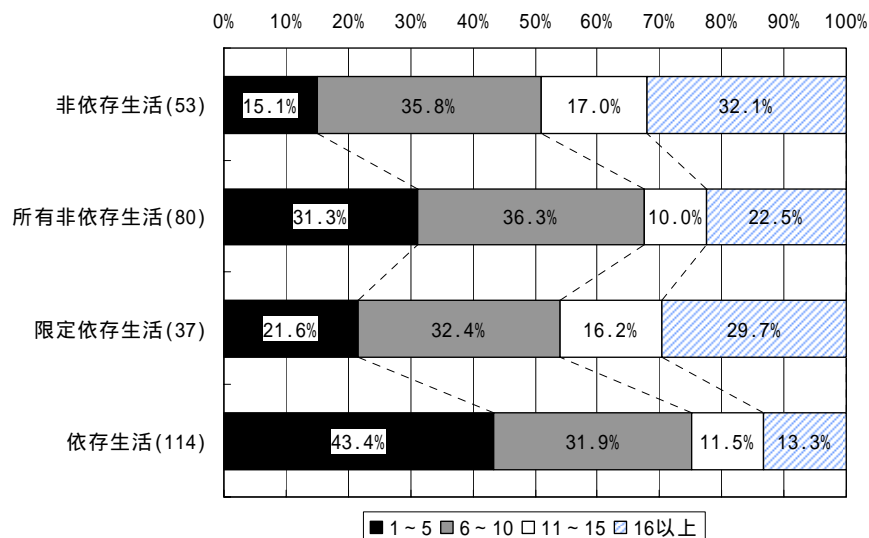


図3-2 依存度別徒歩又は自転車で行く場所のチェック数

2. 自宅周辺道路の認識

本項では、居住者の自宅周辺道路の認識と現状について述べる。

(1) 自宅周辺道路に対する認識

自宅周辺の道に対する認識をたずねたところ、「箕面」では 28.7%が「いつも歩きにくい」と感じている。「歩きにくいと思わない」が約 2 割で、8 割近くの人が歩きにくいと感じていることが分かる（図 3 - 3）。また、「箕面」、「外院の里」、「外院南」と開発年代が新しくなるにつれて「歩きにくいと思わない」人が増えている。

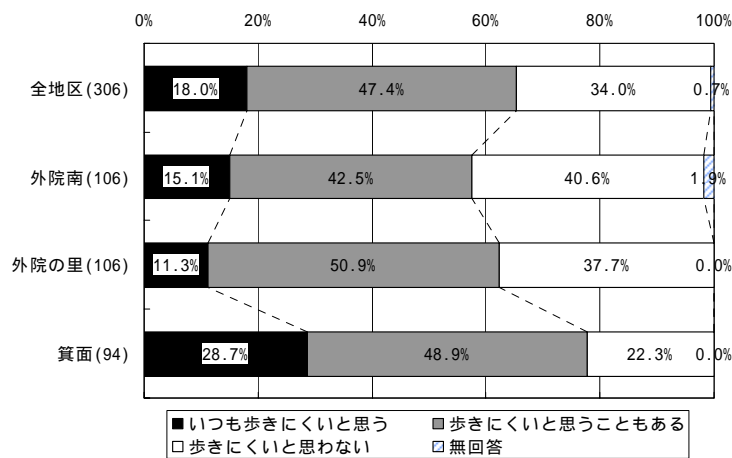


図 3 - 3 地区別自宅周辺道路の認識

(2) 歩きにくいと感じる要因

各地区とも、歩きにくいと感じる要因として「交通量の多さ」が圧倒的に多い割合を占めている（図 3 - 4）。「道の狭さ」は道幅が狭い「箕面」では高い割合が出ている。また、「はみ出している街路樹」についても、「箕面」が高い。各地区ともに「邪魔な電柱」よりも「はみ出している街路樹」が高い割合になっている。

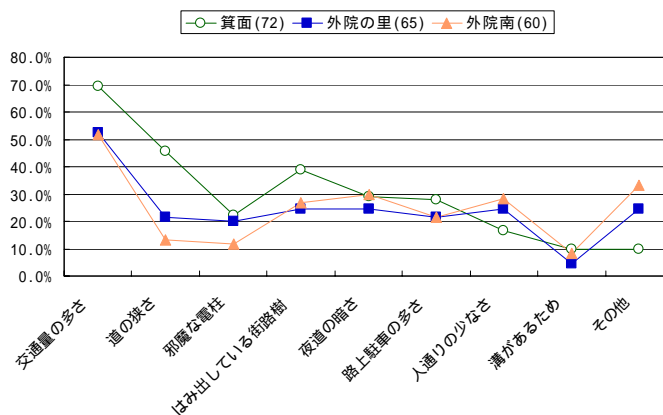


図 4 - 4 地区別歩きにくいと感じる要因

(3) 自宅周辺の道で見かける光景

居住者に自宅周辺の道で見かける光景について訊ねたところ、各地区とも9割以上の人
が「犬の散歩」を見かけており、どの地区でもよく目に止まる行為だといえる(図3-5)。
また、「箕面」では「ウォーキング」が46と比較的少ないが、「道の掃除をする人」が45
と比較的多い。「外院南」では「ジョギング」が41と他地域より高くなっている。また、
「外院の里」では「違法駐車」が48で約半数の人がよく見かけており、駐車しやすい構造
になっている可能性が高い。「ゴミや吸殻」は各地区とも目に付くほどはないものの、「箕
面」では27と比較的高くなっている。

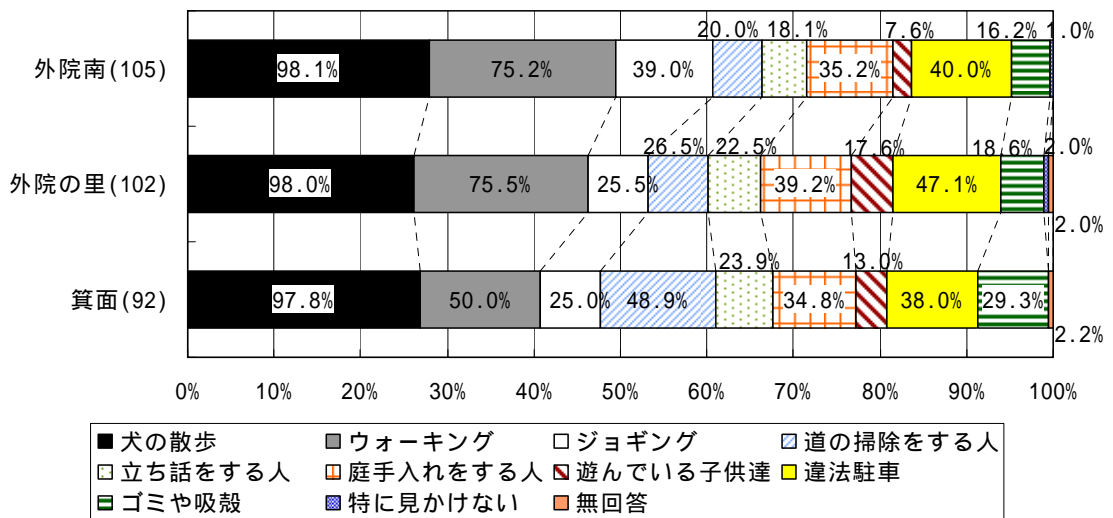


図3-5 地区別道で見かける光景

(4) 理想の道路環境

理想の歩行環境を尋ねたところ、「緑が多い」、「歩道がある」、「交通量が少ない」、「街並みがきれい」、「静かである」が高い支持を得た。「箕面」では、「歩道がある」と「道が広い」が他地区に比べて少ない(図3 - 6)。これは、「箕面」ではほとんどの道が狭いため、車用の道と区別する歩道が元々なく、道全体を人が歩く道として認識されているからと考えられる。

これらの理想の道路環境は現在の不満の表れとも捉えることができる。他地区より比較的歩道があり、舗装されている「外院南」では「歩道がある」や「舗装されている」が少ない。また、「手入れされている」、「ところどころに店がある」などはあまり重視されないことが分かる。

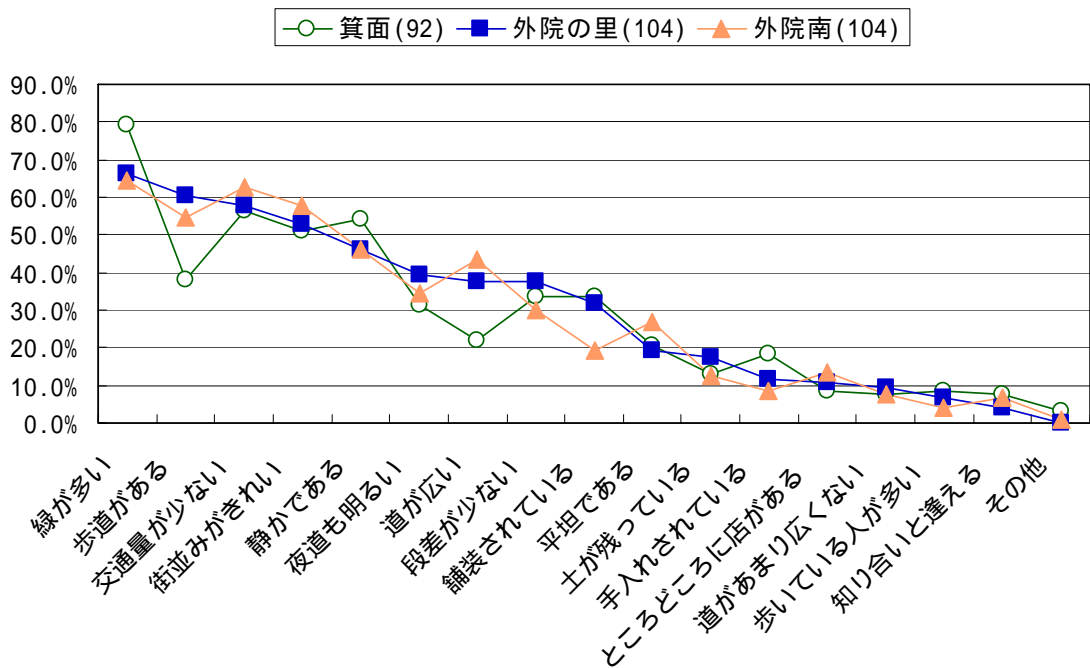


図 3 - 6 地区別理想の道路環境

3. 自宅周辺のお気に入りの道

本節では、地図を用いたアンケート結果を分析する。アンケートでは、自宅周辺のお気に入りの道を3つまで挙げてもらい、理由と共に記入していただいた。地区ごとに、お気に入りの道として挙げられた場所と写真を下記に示す。

(1) 箕面地区

以下に箕面地区に配布した地図と「お気に入りの道」として選択された場所を示す。

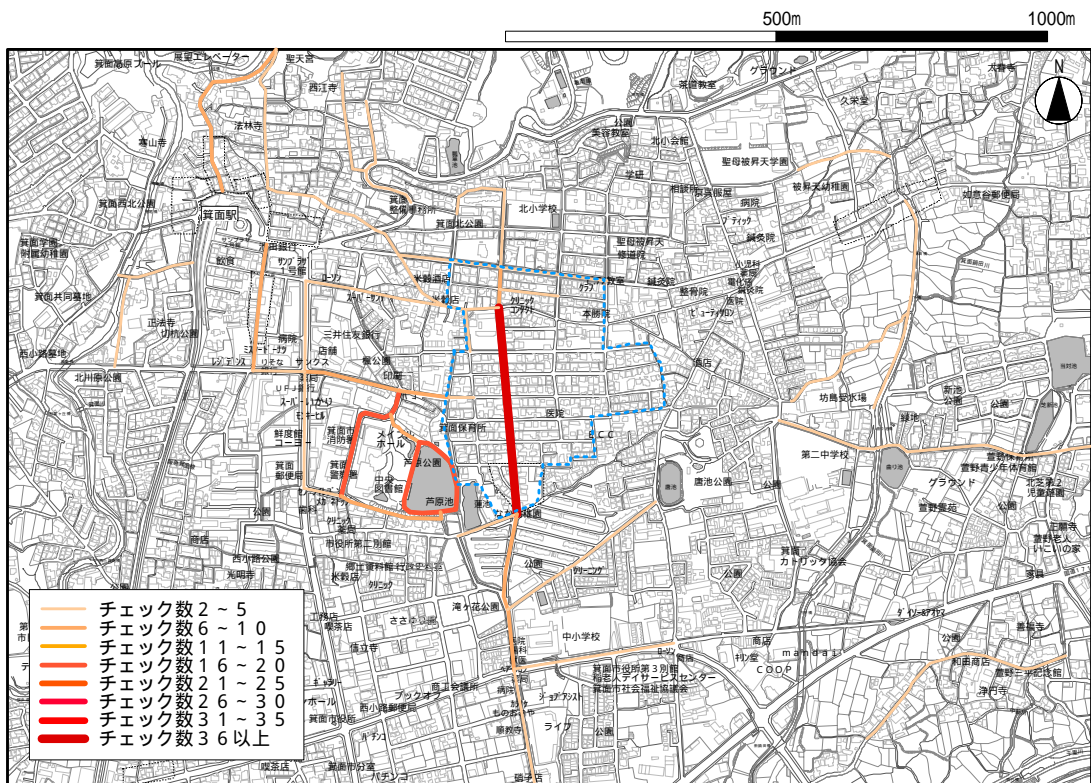


図3-7 箕面地区の道の好感度

箕面地区は、箕面百景にも選ばれた桜並木（写真3 - 1）に票が集中し、その数は67であった。箕面地区住民のランドマーク的要素として高い評価を得ていることが分かる。また、芦原池周辺（写真3 - 2、写真3 - 3）も池と山の景色がよくて人気を集めた。



写真3 - 1



写真3 - 2



写真3 - 3



写真3 - 4

